

京都大学多文化共学短期[派遣]留学プログラム  
2025 年度国立台湾大学スプリングプログラムのご案内

**申込締切：2025 年 11 月 25 日（火）正午**

【日程】

2026 年

3 月 1 日（日）台湾到着、滞在先チェックイン

3 月 2 日（月）～3 月 20 日（金）：授業、課外研修、最終発表会

3 月 21 日（土）帰国

【プログラム概要】

世界的にも有名な国立台湾大学国際華語研習所（ICLP）にて中国語学習、台湾体験コースが提供されます。受講生は優れた中国語教育を受けることができると同時に、台湾文化、歴史、社会、地理環境などについて一歩踏み込んだ多文化体験・理解を得て、各国からの留学生と共に学び交流を深めます。

※本プログラムは全学共通科目キャリア形成科目群「多文化教養演習：見・聞・知@台湾」として、①短期留学への参加、②事前学習、③事後学習から成る授業として実施され、条件を満たした修了者には、全学共通科目として2単位が付与されます。KULASIS 上での履修登録は不要です。

【募集詳細】

募集人数：8 名程度

募集対象：京都大学に在籍する正規の学部生および正規の大学院生

応募条件：異文化体験・異文化学習に意欲を持つ者。また、英語で行われる授業についていける英語力を有する者 ※中国語を母語とする方は本プログラムへの応募はできません

【費用詳細】

参加費用：35 万～37 万円程度

（内訳）プログラム費用：1,100 US ドル（約 17 万円）

宿泊費：600 US ドル（約 9 万 2 千円）（台湾大指定の宿泊施設、2 名 1 室）

航空運賃：8 万～10 万円程度（見込み額。燃油サーチャージ・空港税等含む）

※1 米ドル=153.0 円（2025 年 10 月 27 日現在）で計算しています

※為替レートの変動、参加人数によって参加費用は多少の増減の可能性があります。

※プログラムを修了し、必要な手続きを期日までに完了した者には、本学から 8 万円の支援金を支給します。このほかに、京都大学アジア研究ユニット（KUASU）より 1～2 万円の補助が付きます。

（上記費用に含まれないもの）

自宅から空港までの交通費、現地での移動にかかる交通費、超過手荷物運搬料金、海外旅行保険（本学指定の保険に加入必須）、食事費用、個人的な諸費用

最終決定通知後に参加を取りやめる場合、キャンセル料が発生します。

## 【応募の手順】

オンラインによる申請（応募者基本情報）および Google フォーム（渡航にあたっての聞き取り事項）への回答後、（2）の書類を窓口に提出してください。

### (1) -①オンライン申請について

下記 URL、ID、パスワードによりログインし、必要事項を入力。さらに以下 2 点をアップロードする。

- ・顔写真データ（6 か月以内撮影、正面を向いたもの、無地の背景（壁など）の前で撮影したもの、正式な証明写真である必要はない。サイズの指定なし。）
- ・1 回生の時に本学で受験した TOEFL ITP のスコアが表示されている KULASIS 画面のスクリーンショット（名前とスコアが両方確認できる状態）

※新 1 回生で TOEFL ITP の結果が出ていない方、院生等で、本学で TOEFL ITP を受験していない方などは提出不要です。

※アップロードする TOEFL ITP のスコアを、申請フォームの「2.語学力>その他の検定」欄に記載ください。

完了後に出力される参加申込書を印刷して署名の上、その他書類とともに窓口に提出してください。

<オンライン申請画面URL><https://area34.smp.ne.jp/area/p/nita0mjmel1pepbt9/hbbQ7J/login.html>

ログイン ID: tankihaken\_1704

ログイン PW: N9St1K

※http の後ろに必ず、s があることを確認してください。

### (1) -②Google フォーム（渡航にあたっての聞き取り事項）について

次の URL より回答してください。なお、緊急連絡先は必ず親族にすること。

<https://forms.gle/f4CdXi8jVhqfbvmH7>

### (2) 以下の a～f の書類を国際教育交流課窓口提出する

- a. 参加申込書（オンライン申請後に印刷し、自署したもの）
- b. 学業成績証明書（現在在籍する課程のもの。成績表ではなく、証明書自動発行機等で発行した「学業成績証明書」を提出すること。）
- c. 志望動機書（書式自由。次の①～⑤の内容を含むこと。①所属②学年③氏名④中国語学習歴（なしでも可）⑤志望動機（600 字程度））
- d. 海外留学誓約書（本人及び親族の署名入り。親族が遠方在住の場合、親族の署名は電子でも可。）
- e. パスポートの顔写真ページのコピー

（有効期限は入国時 3 ヶ月以上必要。未取得者はその旨申し出、早急に取得）

- f. 提出物チェックリスト

※d,f の様式は次の URL よりダウンロードしてください。

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/lm5pAjWZFEqM4l7bEy2EqU0aV-Ed3n-cPBXK7DhIr2jT>

書類提出先：学務部国際教育交流課海外留学掛

（吉田南構内 国際高等教育院棟 2 階 国際教育交流課）

申込締切：2025 年 11 月 25 日（火）正午

**【選考】**

1次審査（書類審査）および2次審査（面接）によりおこなう。

**【説明会】※中国大陸、韓国、インドネシアのプログラムと合同**

日時：2025年11月6日(木) 12:10～13:00

会場：吉田南構内 国際高等教育院棟 3階 講義室 32

後日希望者には録画を提供します。

**【選考とその後のスケジュール】**

全て出席必須。公的事情による欠席等については応相談。

内容	スケジュール	形式
<u>面接（1人10分程度）</u>	2025年12月1日(月) 12:15-13:00 18:30-19:30 2025年12月2日(火) 12:15-13:00 16:45-18:15 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は面接日時通知メールにて連絡。	対面
最終結果通知	2025年12月10日（水）	-
<u>合格者オリエンテーション</u>	2025年12月18日（木）12:15-13:00 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は後日連絡。	対面
<u>海外渡航安全説明会</u>	2025年12月中旬（決定次第連絡） ※Zoomでの当日参加または録画視聴	Zoom
<u>事前語学授業（10時間）</u>	2026年2月3日（火）12:15-13:00 2026年2月4日（水）12:15-13:00 2026年2月5日（木）12:15-13:00 2026年2月6日（金）12:15-13:00 2026年2月9日（月）12:15-13:00 2026年2月10日（火）12:15-13:00 2026年2月12日（木）13:15-14:45 2026年2月13日（金）13:15-14:45 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は後日連絡。	対面
<u>共同セミナー発表準備（4時間）</u>	2026年1月22日（木）12:15-13:00 2026年2月12日（木）15:00-16:30 吉田南構内・吉田国際交流会館で実施予定。 講義室の詳細は後日連絡。	対面

※共同セミナー発表準備は上記の2時間に加えて、各自2時間程度の準備時間を別途確保する。

## 【備考】

- ・ 本プログラムは国立台湾大学による支援(学費の一部免除)に加え、本学より以下の機関・事業による援助を受けて行われます。
  - (1) 京都大学アジア研究教育ユニットによる支援
  - (2) 京都大学全学事業実施経費による支援
- ・ 各自の予定等を十分に確認のうえ、京都大学での授業や研究活動、他のプログラム等とのスケジュールに重複がなく、全日程確実に参加が可能な場合に応募を検討してください。
- ・ 同時期に実施される他プログラムとの併願は認めません。
- ・ 自然災害等その他の事由により、プログラムが中止になることがあります。
- ・ 本プログラムでは、指定の海外旅行保険(学研災付帯海学留学保険)に加入すること、参加者全員が同一のフライトで渡航・帰国することをご理解ください。フライト手配は大学でまとめて行います。個人手配や、個人の都合による指定以外のフライトの利用は認められません。
- ・ 本プログラムに引率者は付きません。留学期間中は、本学学生の代表として責任ある行動及び自己管理を徹底してください。
- ・ 航空券・ビザの手配、台湾での移動については追って指示します。
- ・ 国際高等教育院附属 日本語・日本文化教育センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」を受講した上での参加を推奨しています。
- ・ 本プログラムは「「開かれた ASEAN+6」による日本再発見—SEND を核とした国際連携人材育成」から京都大学アジア研究教育ユニットによって引き継がれた支援体制のもとでおこなわれます。
- ・ 京都大学多文化共学短期「派遣」留学プログラムを通じて取得した個人情報(プログラム中の写真、動画等を含む)・応募動機・プレゼンテーション資料・最終レポートは以下に利用する可能性がありますので、ご了承ください。
  1. プログラム運営に関する業務
  2. 学術・研究を目的とする調査
  3. 本学のウェブサイトや報告書等の広報媒体
  4. 協力企業/団体の公式媒体

【本件照会先】 国際高等教育院 河合淳子・韓立友・若松文貴

学務部国際教育交流課海外留学掛

ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (短期留学プログラム代表アドレス)